

教育振興基本計画策定事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	教育政策課	課長名	星 匡哉			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H30 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R2 年度		
事業実施方法	直営													
補助率	—													
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [学びを伸ばす] 政策 [夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等		〔 福井県教育振興基本計画 〕							
[事業目的]														
令和2年3月に策定した新「福井県教育振興基本計画」(R2～6年度)の周知を図る。														
[事業内容]														
新「福井県教育振興基本計画」(R2～6年度)の冊子およびリーフレットの作成・配布														
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 約770,000人								
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					市町との連携状況								
[事業の評価]														
前年度の実績						実績を踏まえた令和2年度の変更点								
ふくいの教育振興推進会議 3回開催														

教育振興基本計画策定事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	教育政策課	課長名	星 匡哉			
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	H30 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R2 年度
事業実施方法	直営													
補助率	-													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	1,073				1,073									
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		30年度	令和元年度	2年度	実績等を踏まえた2年度の変更点									
当初予算額の推移		986	1,663	1,073	計画策定がR1年度中旬から年度末に遅れたため、R1年度に予定していた冊子等の印刷をR2年度に実施する									
2月現計予算額の推移		986	574											
決算額の推移		984												
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	総合教育会議回数 (目標)			(1)	(1)	(1)	総合教育会議を年1回開催し計画の進捗を管理							
	実績	1	1											
活動指標	ふくいの教育振興推進会議回数 (目標)	(3)	(2)											
	実績	6	3											
他県の状況						関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)						

引き出す教育・楽しむ教育実践事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	教育政策課	課長名	星 匡哉		
事業主体	教員、教員で構成する研究会				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度	
事業実施方法	補助								事業年度	経過年数			1 年
補助率	県10/10:(1)(2)(3)(4)、県1/2:(5)												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [学びを伸ばす] 政策 [夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等		[福井県教育振興基本計画]						
[事業目的]													
教育大綱で掲げた、「引き出す教育」・「楽しむ教育」を推進するため、ICT等の先端技術を活用した学びを楽しむ授業づくりや子どもの興味・関心を引き学習意欲の向上に繋げるクラブ活動の実践に向けた研究に取り組む教員の活動を支援する。													
[事業内容]													
(1) 引き出す教育・楽しむ教育実践（先端技術活用研究） ・先端技術を効果的に活用し、子どもの興味・関心を向上させ、学びを楽しむ新たな授業づくりや指導方法の研究 (6,000千円：400千円×15件) (2) 引き出す教育・楽しむ教育実践（小学校クラブ活動） ・学習への興味・関心につながり、発展的な内容を子ども達同士で追及する活動を行うクラブ活動の実践方法の研究 (2,500千円：50千円×50件) (3) 若手教員学習会 ・生徒指導、学級経営、保護者対応について情報交換。アドバイザーを招聘し指導や助言を受け研究実践 (5,000千円：100千円×50件) (4) 授業実践研究 ・教員の自己啓発や指導力向上のための指導方法の研究や教材開発や児童生徒支援の研究、教材開発 (4,500千円：300千円×15件) (5) 教職大学院派遣 ・福井大学教職大学院の派遣研修教員に対する助成 (2,115千円：141千円×15人 [入学金の1/2相当]) ※(3)～(5)については旧「教員自主研究活動支援事業」を継承													
[受益者] 小・中・高等学校・特別支援学校の教員						[想定される受益者数] 約7,000人							
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 教員自主研究活動支援事業 (実績) H28年度～R1年度の4年間実施 ・H28補助総件数：84件 ・H29補助総件数：148件 ・H30補助総件数：147件 ・R1補助総件数：147件				市町との連携状況		市町単位で実施する研修会等と連携し、成果を共有					
[事業の評価]													
前年度の実績						実績を踏まえた令和2年度の変更点							
[H30年度実績] ○若手教員学習会 100件 ○指導方法研究 19件 ○授業実践研究 12件 ○出版活動 2件 ○教職大学院派遣 14件						・県の教科研究部会のみを対象としていた指導方法研究を授業実践研究に統合・拡充することにより、意欲的な研究グループに対する支援を強化する。 ・新たに「引き出す教育・楽しむ教育実践」の区分を設けることにより、県教委の施策である楽しむ教育を実践する研究グループの支援を行う。							
[R1年度実績] ○若手教員学習会 100件 ○指導方法研究 20件 ○授業実践研究 12件 ○出版活動 2件 ○教職大学院派遣 13件													

引き出す教育・楽しむ教育実践事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	教育政策課	課長名	星 匡哉	
事業主体	教員、教員で構成する研究会				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助											
補助率	県10/10:(1)(2)(3)(4)、県1/2:(5)											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	20,115			繰入 20,115		教員指導力向上基金繰入金						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		30年度	令和元年度	2年度	実績等を踏まえた2年度の変更点							
当初予算額の推移				20,115								
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	研究等成果報告件数 (件)	(目標)		(145)	(145)	(145)	指導方法や関連教材開発、研修講座等での活用					
活動指標	研究等申請件数 (件)	(目標)		(145)	(145)	(145)	(1)引き出す・楽しむ教育(先端技術) 15 (2)引き出す・楽しむ教育(クラブ活動) 50 (3)若手 50 (4)授業実践研究 15 (5)大学院派遣 15					
他県の状況	○自主研究会に対する補助金は対象や用途を制限して支給する。 ・石川県：いしかわ師範塾「自主的研究会支援事業」 2,000千円(1回上限300千円) ・富山県：教師の学び支援塾事業(1,500千円) 教師力向上支援事業(4,000千円) 小学校、中学校教育研究会に計1200千円 ○大学院派遣研修に対して、各県独自に助成を行っている。 ・石川県、富山県：大学院修士課程には、入学金、授業料を全額補助 ・石川県：教職大学院については入学金を半額負担 授業料大学と本人が半額負担					関連事業の有無・ 役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)				

「福井県きぼう応援海外留学奨学金」給付事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	教育政策課		課長名	星 匡哉	
事業主体	県内高校生				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H28 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R2 年度	
事業実施方法	補助									経過年数			5 年
補助率	定額									5 年			
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [学びを伸ばす] 政策 [夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等		[福井県教育振興基本計画]						
[事業目的]													
世界を舞台に活躍できる人材を育成するため、海外の高校へ長期留学する高校生を支援する。													
[事業内容]													
<ul style="list-style-type: none"> ・ 対象者：当該年度4月現在、福井県の高校に在籍する日本国籍を有する生徒 ・ 留学期間：1年間または2年間 ・ 条件：教育上有益であると認められる留学計画であることに加え、留学の普及啓発活動に協力すること ・ 給付額：1年間留学の場合 120万円/年 2年間留学の場合 (アジア) 250万円/年、(その他) 300万円/年 													
[受益者] 県内高校生						[想定される受益者数] 9人							
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					市町との連携状況							
[事業の評価]													
前年度の実績						実績を踏まえた令和2年度の変更点							
1年留学 3名、2年留学 1名(アジア)の計4名に支援						<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年間留学の補助を60万円から120万円に増額 ・ 1年間留学の支援人数を4人から5人に増員 ・ 2年間留学の支援人数を2人から4人に増員 							

「福井県きぼう応援海外留学奨学金」給付事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	教育政策課	課長名	星 匡哉	
事業主体	県内高校生				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H28 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R2 年度
事業実施方法	補助											
補助率	定額											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	18,000			繰入 18,000		福井県奨学育英基金繰入金						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		30年度	令和元年度	2年度	実績等を踏まえた2年度の変更点							
当初予算額の推移		6,400	7,900	18,000	<input type="checkbox"/> 1年留学の補助を1人60万円から120万円に増額 <input type="checkbox"/> 1年留学、2年留学の支援人数を増員 ・2年間留学 300万円×4名=1,200万円 ・1年間留学 120万円×5名=600万円							
2月現計予算額の推移		5,900	10,900									
決算額の推移		5,900										
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	給付件数	(目標) 4	(6) 6	(9)	(9)	(9)	1年留学 5名、2年留学 4名					
活動指標		(目標) 実績										
他県の状況						関連事業の有無・ 役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 福井県きぼう応援奨学金 (役割分担) 低所得世帯の高校生への支援					

「夢や希望を育て未来を築く教室」開催事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	教育政策課		課長名	星 匡哉			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	—														
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [学びを伸ばす] 政策 [夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等		[福井県教育振興基本計画]								
[事業目的]															
<p>高校生が将来に向けて具体的な目標を持ち、それぞれの目標に向かって学習意欲を高めていけるよう、福井県ゆかりの企業経営者等による授業を行い、生徒による発表や質疑応答を行う。</p>															
[事業内容]															
<ul style="list-style-type: none"> ・ 福井県ゆかりの講師（ふるさと先生）による授業 講師数 17名程度（伊藤忠会長 小林栄三氏、コマツ会長 野路國夫氏、JTB会長 田川博己氏 等） 実施校数 高校26校 (新)各分野（職業）で活躍している社会人による「キャリア教育セミナー（仮称）」 講師数 2名（県内外の第一線で活躍する社会人） 実施回数 1回 (新)地域の企業や社会人による「キャリア教室（仮称）」 講師数 260名程度（地元企業に勤める社会人 等） 実施校数 高校26校（各学校10名） 															
[受益者] 県内高校生						[想定される受益者数] 約5,000名									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					市町との連携状況									
[事業の評価]															
前年度の実績						実績を踏まえた令和2年度の変更点									
ふるさと先生15名が24校で授業を実施						さらなるキャリア教育の充実を図るため、「キャリア教室（仮称）」と「キャリア教育セミナー（仮称）」の実施									

「夢や希望を育て未来を築く教室」開催事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	教育政策課	課長名	星 匡哉			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金					
補助率	—					□ その他			□ その他					
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	3,566					3,566								
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		30年度	令和元年度	2年度	実績等を踏まえた2年度の変更点									
当初予算額の推移		3,084	3,084	3,566										
2月現計予算額の推移		2,829	2,049											
決算額の推移		2,458												
前年度までの 主な増減理由	「キャリア教室（仮称）」と「キャリア教育セミナー（仮称）」の開催による増額													
[成果指標等の推移]														
区 分		30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	生徒対象アンケート結果 (%)	— 実績 86	(90)	(90)	(90)	(90)	授業を受講して夢や希望を持つことができた生徒の割合							
活動指標	ふるさと先生による授業 実施校数(校)	(26) 実績 26	(26)	(26)	(26)	(24)	令和4年度は統廃合により校数減少							
他県の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・石川県 世界規模で活躍する企業経営者の講演会を実施 ・富山県 職業観、勤労観を育てるための企業経営者等による講演を実施 					関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 高校生県内企業訪問・職業理解推進事業 (役割分担) 高校生が企業訪問等をする際の事前学習として活用						

課題解決型学習モデル開発事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	教育政策課		課長名	星 匡哉			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H28 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R2 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	—														
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [学びを伸ばす] 政策 [夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等		[福井県教育振興基本計画]								
[事業目的]															
<p>主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度等を多面的・総合的に評価する大学入学者選抜改革に向け、プロジェクト学習を指導できる教員の育成を、学校、県教育総合研究所、大学（福井大学教職大学院）が連携して実施する。</p>															
[事業内容]															
<p>県内6ブロックのモデル校においてプロジェクト学習を研究・実践し、成果を国際会議に参加するなどして県内高等学校教員の資質向上を図る。</p> <p>(1) 参加校 羽水高校（福井地区）、敦賀高校（二州地区）、若狭高校（若狭地区）、丸岡高校（坂井地区）、勝山高校（奥越地区）、鯖江高校（丹南地区）</p> <p>(2) スケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4～2月 モデル校での研究、実践 「総合的な学習の時間」等におけるプロジェクト学習の研究と実践 テーマ例：防災、少子高齢化、環境・エネルギー、地域産業振興 等 ・ 7月 中間報告会（会場：教育総合研究所） モデル校6校の活動報告（教員による報告）、大学教授等によるアドバイス（県内大学2名） ・ 8月 国際イノベーションフォーラム2020において上記6校が参加し課題解決型学習の成果を発表 ・ 2月 成果報告会（会場：教育総合研究所） モデル校6校成果報告（生徒、教員による報告）、大学教授等によるアドバイス（県内大学2名） ・ 3月 課題解決型学習モデル実践集を作成 															
[受益者] 高校生						[想定される受益者数] 約5,000人									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					市町との連携状況									
[事業の評価]															
前年度の実績						実績を踏まえた令和2年度の変更点									
モデル校毎にテーマを設定し、課題解決型学習を実施						令和2年度は、国際イノベーションフォーラム2020に参加し、課題解決型学習の成果発表を実施予定。									

課題解決型学習モデル開発事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	教育政策課	課長名	星 匡哉	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H28 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R2 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	4,907			繰入 4,907		教員指導力向上基金繰入金						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		30年度	令和元年度	2年度	実績等を踏まえた2年度の変更点							
当初予算額の推移		2,773	2,773	4,907								
2月現計予算額の推移		2,773	2,773									
決算額の推移		2,317										
前年度までの 主な増減理由	平成29年度は東京での国際会議に参加（生徒35名）											
[成果指標等の推移]												
区 分		30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	課題解決学習の評価基準 の作成（件）	(目標) 1	(1)	(1)								
活動指標	活動成果発表回数（回）	(目標) 3	(3)	(3)								
他県の状況	広島県 ・高等学校課題発見・解決学習推進プロジェクト事業 課題発見・解決型学習に関するカリキュラム等を研究開発 ・広島創生イノベーション事業 海外のパートナー校と地域課題について研究 和歌山県 ・イノベーションスクール推進事業 地域社会に貢献できる人材の育成 石川県 ・探究スキルの育成事業 論理的思考力を高める授業の実践研究					関連事業の有無・ 役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)				

福井ふるさと教育フェスタ事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	教育政策課		課長名	星 匡哉			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	—														
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [学びを伸ばす] 政策 [夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等		[福井県教育振興基本計画]								
[事業目的]															
ふるさと教育を推進するため、小中学校での体験学習の成果や地域の伝統芸能に関する活動を広く県内に発信するとともに、子どもたちが互いに刺激を受け合う機会として、「福井ふるさと教育フェスタ」を開催する。															
[事業内容]															
<p>①小中学校の児童生徒による「ふるさと体験学習」の発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童自らによる各学校のふるさと体験活動のステージ発表 ・各学校のふるさと体験活動のポスター発表 <p>②年表コンテストの表彰</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが作成した年表で優秀な作品を表彰 <p>③伝統芸能の発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが参加している伝統芸能のステージ発表 															
[受益者] 小中学校の児童生徒、伝統芸能関係者、保護者							[想定される受益者数] 240人								
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					市町との連携状況									
[事業の評価]															
前年度の実績						実績を踏まえた令和2年度の変更点									
令和元年度福井ふるさと教育フェスタ（トライアル枠予算） 令和2年2月8日（土）会場：アオッサ8階県民ホール ・ステージ発表：小学校7校、伝統芸能2団体 ・パネル展示：小中学校42校 ・参加者：発表者195名、観覧者223名															

福井ふるさと教育フェスタ事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	教育政策課	課長名	星 匡哉			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											経過年数		
補助率	-											1 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	1,387					1,387								
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		30年度	令和元年度	2年度	実績等を踏まえた2年度の変更点									
当初予算額の推移				1,387										
2月現計予算額の推移														
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	フェスタ来場者数 (目標) 実績			(400)	(400)	(400)								
活動指標	フェスタ参加校・団体 (目標) 実績			(12)	(12)	(12)	小学校10校、伝統芸能2団体							
他県の状況	岐阜県が平成28～30年度に「ふるさと教育フェスタ」を実施					関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)						

学校におけるタブレット活用促進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	教育政策課		課長名	星 匡哉
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営、委託											
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [学びを伸ばす] 政策 [夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等		[福井県教育振興基本計画]					
[事業目的]												
<p>県立中学・高校にタブレットを整備し、タブレットならではの利点を生かした個別学習の質の向上を図るとともに、生徒の意見を即時に収集・共有することで議論を活発化させるなど、効果的な協働学習を実現する。また、学校現場の教員がより効果的に授業等に生かせるよう、全国の先進校から講師を招聘した実践的な研修を実施する。</p>												
[事業内容]												
<p>(1) 県立中学・高校に3クラスに1クラス分のタブレット端末を整備 スケジュール 生徒分：令和2年度より新入生分を整備 教員分：令和2年度に整備</p> <p>(2) 全国の先進校から講師を招き、先進的な授業を踏まえた実践報告および先進事例を取入れた模擬授業による研修を実施 小・中・高等学校の校種ごとに各地域ブロックで実施</p>												
[受益者] 県立学校の生徒・教員						[想定される受益者数] 約17,000人						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 スマート教育推進事業 (実績) 平成26年度～28年度の3年間で1,387台の生徒用タブレットを整備 ・モデル校 12校で実施					市町との連携状況						
[事業の評価]												
前年度の実績						実績を踏まえた令和2年度の変更点						

学校におけるタブレット活用促進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	教育政策課	課長名	星 匡哉			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営、委託								□ 補助金					
補助率	-								■ その他					
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	175,407	113,370		繰入 992	61,045	電源立地地域対策交付金、教員指導力向上基金繰入金								
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		30年度	令和元年度	2年度	実績等を踏まえた2年度の変更点									
当初予算額の推移				175,407										
2月現計予算額の推移														
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	授業の内容がよくわかる と答えた生徒の割合 (%)	(目標)		(36.9)	(36.9)	(36.9)	令和元年度26.9%から10%増							
		実績												
活動指標	タブレット整備台数 (台)	(目標)		(2,420)	(1,723)	(1,723)	生徒用1,723台、教員用697台							
		実績												
他県の状況	富山県 ・ICT教育推進事業 予 算 額：62,750千円 タブレット整備台数：498台 対 象 校 数：15校					関連事業の有無・ 役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)						

先端教育研究センター研究推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	教育政策課		課長名	星 匡哉			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H29 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R2 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	—														
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 [学びを伸ばす] 政 策 [夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等		〔 福井県教育振興基本計画 〕								
[事業目的]															
<p>教育総合研究所に設けた「先端教育研究センター」において、県内外の大学教員等の専門家とともに、現在から近い将来にかけての教育課題に関する先端的な研究をすすめる、学校現場で活用できる教材の作成や、教員研修への反映などにより、研究の成果を学校に還元する。</p>															
[事業内容]															
<p>特別研究員の配置 研究テーマごとに造詣の深い大学教授等を特別研究員として招聘し、研究に関して指導・助言を受けることにより研究の質・量をとともに向上させ、短期間に有用な成果を創出する。</p> <p>○令和2年度研究テーマ案</p> <p>①小学校英語におけるやりとりの研究や読解力向上にむけた教材の開発等の言語活動に関する研究 ②ポジティブ教育を活用した「持続可能な幸せを育む学校づくり」の授業案の開発 ③小学校の各教科におけるプログラミングを活用した授業案の開発 ④実験を基礎とした論理的創造的な思考力の育成の授業の提案</p>															
[受益者] 小学校・中学校・高校の教員および児童生徒						[想定される受益者数] 約90,000人									
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				市町との連携状況		ポジティブ教育の研究 池田町幼少中合同研究会 敦賀市角鹿校区							
[事業の評価]															
前年度の実績						実績を踏まえた令和2年度の変更点									
①言語活動の研究 読解力向上のためのRST受検 18校 1,323人 研修講座の実施 4校 ②ポジティブ教育の研究 研修会・助言 16回 授業案の提案 82 ③理科授業の研究 モデル授業の開催 1回						①言語活動の研究において、教科を横断した英語でのやりとりの実践方法を取り入れる。 ②ポジティブ教育において、今年度開発した授業案に基づく実践授業を行い、指導者の養成を行う。 ③新たに小学校におけるプログラミング教育の研究を実施。									

先端教育研究センター研究推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	教育政策課	課長名	星 匡哉	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H29 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R2 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	2,551				2,551							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		30年度	令和元年度	2年度	実績等を踏まえた2年度の変更点							
当初予算額の推移		2,932	2,532	2,551								
2月現計予算額の推移		2,932	2,532									
決算額の推移		2,823										
前年度までの 主な増減理由	30年度から特別研究テーマを2テーマから3テーマに増やした。 (30年度から活用する特別研究員を2名から3名に増やした。)											
[成果指標等の推移]												
区 分		30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	研修や講座の参加者の満足度 (目標)	(4.2)	(4.3)	(4.8)			アンケートによる満足度調査結果					
	実績	4.1	4.7									
活動指標	教材や授業案の開発数 (目標)	(3)	(5)	(40)			新たに開発した授業案および教材					
	実績	4	36									
他県の状況	教育研究所・教育センターと大学との連携は全国で多数実施。 【石川県】 学力調査の分析について、金沢大学と協働研究					関連事業の有無・ 役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)				

学校に行けない高校生等の自立支援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	教育政策課	課長名	星 匡哉			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度		
事業実施方法	直営													
補助率	-													
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [学びを伸ばす] 政策 [夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等		[福井県教育振興基本計画]							
[事業目的]														
不登校の高校生や中退後に引きこもりとなっている子どもの社会的自立を支援するため、学習支援や進路支援を行う自立支援センターを設置する。														
[事業内容]														
<p>自立支援センター（学習等の実施場所）の設置 利用者：不登校の高校生や中退後に引きこもりとなっている子ども 利用期間：週2回、6ヶ月程度の通所を想定 設置場所：教育総合研究所、嶺南教育事務所、ほか（丹南地区（勤労青少年ホーム）等を想定）</p> <p>支援員の指定 支援員：教員OB等（利用の予約に応じ配置） 活動内容：学習支援等（1回3時間、週2回程度）</p>														
[受益者] 不登校の高校生等						[想定される受益者数] 8人（見込み）								
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）				市町との連携状況								
[事業の評価]														
前年度の実績						実績を踏まえた令和2年度の変更点								
トライアル予算で教育総合研究所に開設						通所しやすい環境を整えるために、利用者のニーズに応じて教育総合研究所以外にも有期で開設								

学校に行けない高校生等の自立支援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	教育政策課	課長名	星 匡哉			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											経過年数		
補助率	-											1 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	1,341					1,341								
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		30年度	令和元年度	2年度	実績等を踏まえた2年度の変更点									
当初予算額の推移				1,341										
2月現計予算額の推移														
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	利用者数 (目標) 実績			(8)	(8)	(8)	R1年度トライアルにおける広報活動で利用が見込まれた不登校の高校生数							
活動指標	高校への情報提供 (目標) 実績			(26)	(26)	(24)	全県立高校							
他県の状況	【高校生向けの適応指導教室】 ・石川県 7か所 ・岐阜県 1か所 ・大阪府 1か所					関連事業の有無・ 役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)						